



日本製鉄の GX スチール「NSCarbolex Neutral」が使用されたオフィス家具が東京都に初採用

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）が提供する GX スチール^{*1}「NSCarbolex[®] Neutral（エヌエスカーボレックス ニュートラル）」^{*2}を採用した株式会社オカムラ（以下、オカムラ）製の鋼製家具（リーフレット展示用シェルビング 2 台）が、このたび東京都庁第一本庁舎 19 階北側および 20 階南側の執務室入り口付近に設置されました。

東京都では、サプライチェーン全体での温室効果ガス（GHG）の排出削減を進めるためにカーボンフットプリント等を活用したグリーン製品の創出における脱炭素支援事業を推進しています。日本製鉄とオカムラの GX 促進活動が令和 8 年度支援対象事業者に選出された^{*3}中で、2050 年ゼロエミッション東京の実現に向けた率先行動の一環として、GX スチールを活用した製品が率先して採用されました。



＜東京都庁に設置されたリーフレット展示用棚＞

日本製鉄は、あらゆる産業において CO₂ 削減が喫緊の課題であるなか、GX スチール「NSCarbolex Neutral」及び高機能製品・ソリューション技術「NSCarbolex Solution」の提供を通じ、お客様の脱炭素化・競争力向上、カーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

*1 GX スチール

鉄鋼メーカーによる追加的な（スコープ 1 の）直接的排出削減行動による大きな環境負荷の低減があり、排出削減行動に伴う環境価値を一定のプレミアムとして経済価値化することを前提に、削減証書とともに供給する鋼材。

※GX スチールの定義についての詳細は、日本鉄鋼連盟「GX スチールガイドライン」を参照ください。

*2 NSCarbolex Neutral

日本製鉄が実施した追加性のある削減プロジェクトによる GHG（Greenhouse Gas 温室効果ガス）排出削減量を組織内でプールし、その削減量を任意の製品に配分して証明書と共に供給する鉄鋼製品であり、一般社団法人日本鉄鋼連盟が制定するガイドラインに準拠しています。

NSCarbolex Neutral を購入したお客様は、証明書に記載の GHG 排出削減量を、お客様が算定する組織レベルの排出量（GHG プロトコル スコープ 3 カテゴリー 1）からの控除及びお客様が算定する製品レベルでの上流排出量からの控除として報告することができると解釈しています。

*3 詳細は、2026 年 9 月 17 日付の東京都による報道発表資料をご参照ください。

[CFP を活用したグリーン製品創出に取り組む事業者が決定 | 9 月 | 都庁総合ホームページ](#)

■NSCarbolex Neutral の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.nipponsteel.com/product/nscarbolex/neutral/>



■ NSCarbolex Solution の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.nipponsteel.com/product/nscarbolex/solution/>



以 上

お問い合わせ : <https://www.nipponsteel.com/contact/>